

令和元年12月

定例教育委員会

1

12月定例会（1）

開催日時 令和元年12月13日（金） 15時00分

開催場所 県庁行政棟「教育委員会室」

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 協 議

(1) 令和2年度「長崎っ子の心を見つめる教育週間」について

(児童生徒支援室)

5 報 告

(1) 令和2年度公立小・中学校管理職員選考試験の結果について

(義務教育課)

(2) 高校生の活躍について

(高校教育課)

協 議 事 項 (1)

児童生徒支援室

(件 名)

令和2年度「長崎っ子の心を見つめる教育週間」について

(概 要)

1. 背 景

(1) 過去に起きた痛ましい事件を風化させず、二度と起こさない。

- 平成15年 男子誘拐殺人事件
- 平成16年 小6同級生殺害事件
- 平成26年 佐世保市内女子高生逮捕事案

(2) 各学校を基点とした、家庭・地域との子育てネットワークを構築する。

- 平成8年 子どもの心と向き合う教育旬間
- 平成13年 ココロねっこ運動
- 平成16年 「長崎っ子の心を見つめる」教育週間

(3) 小学校から高校までの児童生徒の12年間の健全育成に資するため、「引継ぎシート」の活用や福祉等の関係機関との連携を推進していく。

- 平成27年 「児童生徒のための継続的な指導・支援のための引継ぎガイドライン」策定
- 同 「学校と関係機関との連携マニュアル」作成

2. 趣 旨

本県では、すべての公立学校で教育活動を公開する教育週間を設定し、学校と保護者や地域住民が連携して、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高め、“いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成”に努めてきた。

ネット環境を含め、児童生徒を取り巻く生活環境が大きく変容する中において、「心豊かな長崎っ子の育成」を目指す本県教育の特色あるこの取組は、これまでの成果を生かしながら、推進する必要がある。

3. 目 的

- ◎ いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成
 - 命を大切に作る心や思いやりの心の育成
 - あこがれや将来への志の育成
 - あいさつやマナーの向上

4. 運営上の工夫・改善点

(1) 各学校における取組内容を検討する時間を確保

- 前年度中に実施要項を作成し、送付することで、各学校の取組のさらなる充実を図る。

(2) PTAとの連携の強化

- 県PTA連合会、県公立高等学校PTA連合会に対して実施要項等を配付・周知し、各学校における連携の強化を図る。

また、役員による県教育委員訪問校への参観を案内し、県下の取組意識の向上を目指す。

(3) 情報モラル教育教材「SNSノート・ながさき」活用の充実

- 今年度「SNSノート・ながさき」を使用した教員対象のアンケートをもとに、県教委・LINE社に加えて長崎大学とも連携して効果検証を行う。その結果を各学校に還元することで、児童生徒の情報モラルの一層の向上を図る。

報 告 事 項 (1)

義 務 教 育 課

件 名	令和2年度公立小・中学校管理職員選考試験の結果について																											
概 要	<p>1 試験日程</p> <p>第1次試験 期 日 令和元年8月3日(土) 会 場 長崎県教育センター 方 法 校長：論文 教頭：筆記試験、論文</p> <p>第2次試験 期 間 令和元年10月1日(火)～29日(火) 会 場 長崎県庁行政棟 方 法 校長：面接 教頭：面接</p> <p>2 選考試験結果(前年度比較)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">令和2年度</th><th colspan="3">平成31年度</th></tr><tr><th>受験者数</th><th>登載者数</th><th>倍率</th><th>受験者数</th><th>登載者数</th><th>倍率</th></tr></thead><tbody><tr><td>校長</td><td>288(12)</td><td>82(6)</td><td>3.5</td><td>273(12)</td><td>69(7)</td><td>4.0</td></tr><tr><td>教頭</td><td>290(33)</td><td>89(17)</td><td>3.3</td><td>294(22)</td><td>78(12)</td><td>3.8</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: center;">※ () は女性で内数</p> <p>3 名簿登載及び通知</p> <p>各市町教育委員会あて 令和元年12月2日(月) 本人あて 令和元年12月3日(火)</p>		令和2年度			平成31年度			受験者数	登載者数	倍率	受験者数	登載者数	倍率	校長	288(12)	82(6)	3.5	273(12)	69(7)	4.0	教頭	290(33)	89(17)	3.3	294(22)	78(12)	3.8
	令和2年度			平成31年度																								
	受験者数	登載者数	倍率	受験者数	登載者数	倍率																						
校長	288(12)	82(6)	3.5	273(12)	69(7)	4.0																						
教頭	290(33)	89(17)	3.3	294(22)	78(12)	3.8																						

報 告 事 項 (2)

高 校 教 育 課

件 名	高校生の活躍について
概 要	<p>1 諫早農業高等学校</p> <p>(1) 大会名等 「第70回日本学校農業クラブ全国大会南東北大会」 (主催：日本学校農業クラブ連盟、全国農業高等学校長会)</p> <p>(2) 成 績 食品科学科：プロジェクト発表Ⅱ類 最優秀賞(第1位)、文部科学大臣賞</p> <p>(3) 内容等 大会日程：10月23日～24日 <プロジェクト発表Ⅱ類(開発・保全・創造)> 大会会場：名取市文化会館(宮城県名取市) 発表題目：「長崎温州みかんが生み出す新たな地域興し ～諫早伝統菓子 おこしの開発と廃棄物再生計画～」 内 容：廃棄される規格外みかんを諫早のおこしと組合せ、「みかん おこし」を開発し、企業と共同で商品化。さらにみかんを 加工する際に発生する果皮や薄皮を椎茸栽培の菌床に活用 し、椎茸生産に成功した。 出 場 者：全国9ブロックの代表9チーム</p> <p>2 長崎工業高等学校</p> <p>(1) 大会名等 「第19回高校生ものづくりコンテスト 全国大会(近畿大会)」 (主催：公益社団法人全国工業高等学校長協会)</p> <p>(2) 成 績 電子回路組立部門 準優勝 情報技術科3年 平村恵人</p> <p>(3) 内容等 大会日程：11月16日～17日 大会会場：兵庫県立尼崎工業高等学校(電子回路組立部門) 競技課題：課題システムの製作と制御プログラムの作成 出 場 者：10名(各ブロック9名、開催地1名) 全国9ブロック及び開催地の校長会から推薦された生徒。 ただし、推薦できる人数は各1名。 そ の 他：7部門で開催 旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、 化学分析、木材加工、測量 (本県から旋盤作業、自動車整備、電子回路組立に出場)</p>

○第70回日本学校農業クラブ全国大会の様子

諫早農業高校食品科学部

Ⅰ類

開発・保全・創造

長崎温州みかんが生み出す新たな地域興し

諫早伝統菓子おこしの開発と廃棄物再生計画

長崎県産みかんの廃棄物が盛んな中、学生有志たちから「規格外みかん」の活用案を掲げ、地域内外で「おこし」を開発・研究に取り組んでまいりました。

今年受賞する「おこし」は、旬の食材を上手に活用し、おいしくおいしく食べられることのできるおこしです。

最優秀賞

文部科学大臣賞

【九州】長崎県

諫早農業高校

【九州】長崎県 農業高校

持続的農業環境の構築をめざしたDNA 個体識別技術の応用研究

【北海道】北海道 旭川農業高校

米タウン旭川から届けたい！
～米粉の地方産産プロジェクト～



全国大会でのプロジェクト発表会

みかんのおこし(杉谷本舗 HP より)
※県庁売店、長崎物産館でも販売中(1箱 250円)

○高校生ものづくりコンテスト全国大会（近畿大会）^{てんしかいろくみだて}電子回路組立部門の様子

長崎工業高校 情報技術科 3年 ^{ひらむらけいと}平村 恵人くん

競技時間 2時間30分（150分）

採点基準 設計力20、組立技術30、プログラミング技術40、
その他10（作業態度、作業の安全性、清掃）



基板にセンサーやモーターなどを「はんだ付け」



作成した基板を制御するプログラムを作成

